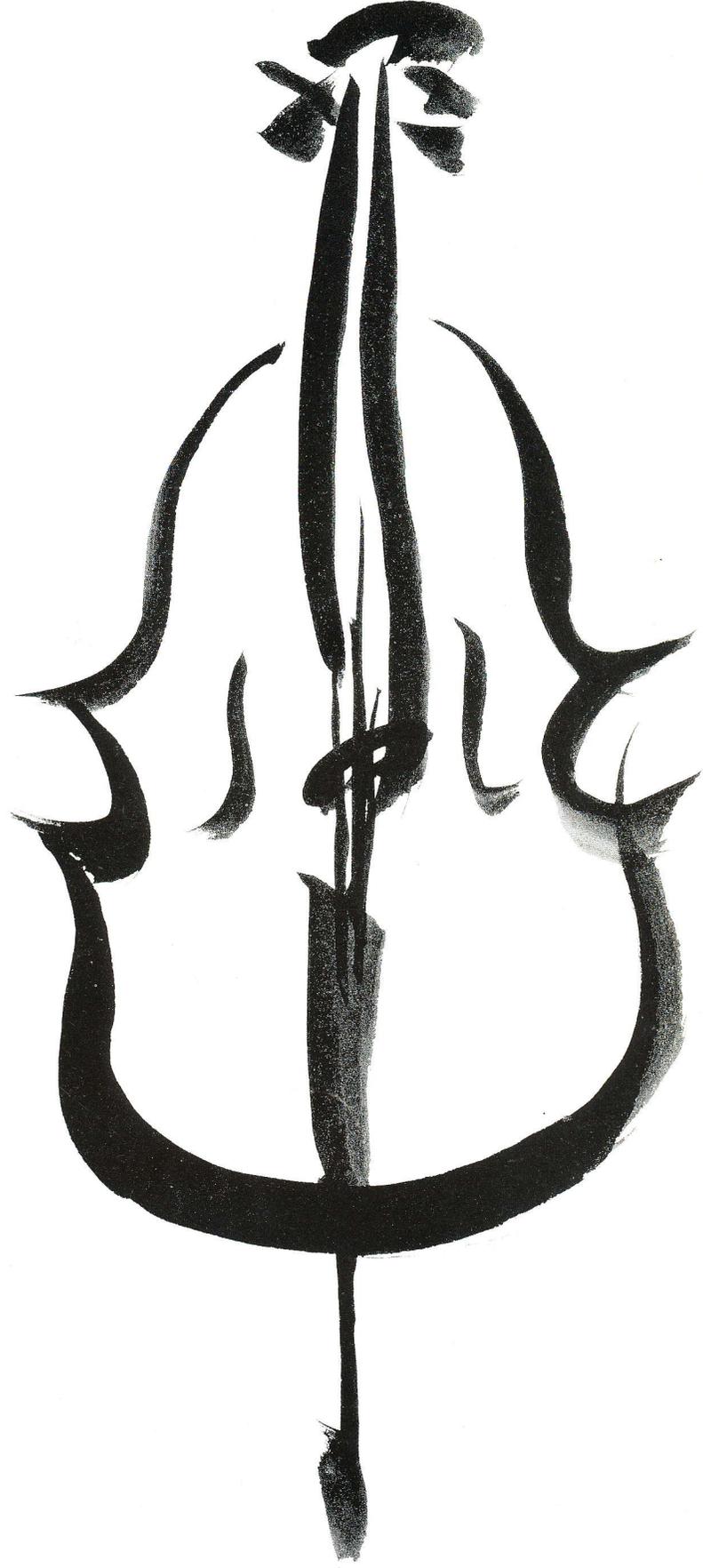


KOBE UNIV. SYMPHONY ORCHESTRA

THE 42ND REGULAR CONCERT



神戸大学交響楽団 第42回定期演奏会

PROGRAM

悲劇的序曲 作品81

Tragische Ouvertüre

ブラームス

Johannes Brahms

指揮 江田 一人

コンサートミストレス 田中 美和子

交響曲「画家マチス」

Mathis der Maler

ヒンデミット

Paul Hindemith

I 天使の合奏
Engelkonzert

指揮 飯森 範親

コンサートマスター 松嶋 秀明

II 埋葬
Grablegung

III 聖アントニウスの試練
Versuchung des heiligen Antonius

交響曲 第2番 二長調 作品73

Symphonie Nr.2 D-Dur Op.73

ブラームス

Johannes Brahms

I Allegro non troppo

II Adagio non troppo-L'istesso tempo ma grazioso

III Allegretto grazioso (Quasi Andantino)
-Presto ma non assai

IV Allegro con spirito

指揮 飯森 範親

コンサートマスター 松嶋 秀明

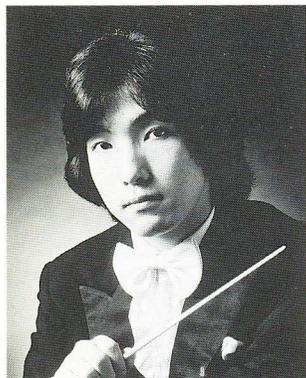
日時 1992年12月17日(木) 6:30開演

場所 ザ・シンフォニーホール

協賛 神栄石野証券株式会社・富士通テン株式会社

後援 兵庫県・神戸市民文化振興財団・兵庫県オーケストラ協議会・神戸新聞社

客演指揮 飯 森 範 親



1963年鎌倉生。桐朋学園大学指揮科で小沢征爾、秋山和慶、尾高忠明、ジャン・フルネの各氏に師事し、4年在学中に第20回東京国際音楽コンクールで優勝。さらに1987年ブザンソン国際指揮者コンクール第2位入賞、1988年には第11回マスタープレイヤーズ国際コンクール(スイス・ルガーノ)で優勝、併せて同コンクール全部門を通じての最優秀者1名に贈られるマスタープレイヤーズ大賞を日本人としては初めて受賞した。1989年第15回「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団を指揮、また同年10月から2年間、文化庁派遣芸術家在外研修員としてバイエルン国立歌劇場においてW・サヴァリッシュ氏の下で研鑽を積み、新作オペラの制作に携わり、帰国後の1992年1月、岡山シンフォニーホール委嘱作品、オペラ『ワカヒメ』(なかにし礼作・三木稔作曲)の初演を指揮して大成功を収めた。1993年には神戸シティオペラ『カルメン』、『ワカヒメ』東京公演(NHKホール)等を指揮する予定であり、海外でも同年ブルノ国立フィルハーモニー(チェコ)、モスクワ放送交響楽団の定期演奏会への客演が予定されている。またモスクワ放送交響楽団を指揮したストラヴィンスキー『春の祭典』、『火の鳥』、『ペトルーシュカ』、『花火』のCDが来年3月に発売される。

トレーナーの先生方

- 宇治原 明 (大阪フィルハーモニー・首席ファゴット奏者)
- 宮村 聡 (京都市交響楽団・首席トランペット奏者)
- 田中 敏義 (前北ドイツ祝祭管弦楽団・トロンボーン奏者)

以上の先生方に御指導いただきました。この場をかりて御礼申し上げます。



Liaison
リエゾン



割引特典☆実施中

兵庫県公安委員会指定・技能試験免除

リエゾン日光自動車学校

〒658 神戸市東灘区向洋町東4丁目2番

078-857-0055